

事務事業調書

平成26年度

事業No	265	課	介護保険課	係	介護給付係	起案者	水越亮
						決裁者	鈴木公伸
事務事業名	介護保険システム管理事務				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 2 介護保険 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策				予算科目(会計)		介護保険事業特別会計			
					予算科目(款・項・目)		5-5-5			
					総合計画以外の計画		あんジョイプラン			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託	委託先		民間企業						
実施期間	開始	平成12年度		経過	14年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		介護保険第1号被保険者が				~になる		迅速かつ正確に介護サービスが受けられるようになります。	
事務事業の内容	介護保険制度での資格管理・保険料の賦課・徴収・給付を適正・迅速に行い、セキュリティにも配慮したシステム運営を行います。									
改善・対策の履歴	平成21年度に、高額医療合算制度創設に伴うシステム改修を行いました。 平成23年度に、制度改正と報酬改定に対応するためシステムの改修を行いました。 平成24年度に、システム機器の更新を行い、サーバーを情報システム課が管理する機器に統合しました。 平成25年度に、認定ソフト2009対応、報酬改定及び区分支給限度額の引き上げに伴うシステム改修を行いました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	24,338	35,584	15,111	16,458	27,034
財源計	19,739	29,725	9,441	10,788	21,553
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	19,739	29,725	9,441	10,788
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	132	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,599 (0.73)	5,859 (0.93)	5,670 (0.90)	5,670 (0.90)	5,481 (0.87)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	業者との定例会の開催	見込	12.00	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	12.00	12.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	20,561	11,693	12,038	
			活動にかかるコスト (千円)	1,713.42	974.42	1,003.17	
活動2	活動名 (活動内容)	運用手順書の作成・更新	見込	1.00	1.00	1.00	2.00
			実績	1.00	1.00	2.00	
	指標名 (単位)	更新回数(回)	活動の総事業費 (千円)	63	63	630	
			活動にかかるコスト (千円)	63.00	63.00	315.00	
活動3	活動名 (活動内容)	システム動作確認	見込	50.00	50.00	50.00	50.00
			実績	50.00	50.00	50.00	
	指標名 (単位)	テスト回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,520	3,465	2,520	
			活動にかかるコスト (千円)	50.40	69.30	50.40	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	システム障害やシステムダウン等のシステム不具合の回数(回)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	1.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成	
成果2	システム不具合を解消するための操作時間(時間数)			目標	10.00	10.00	10.00	0.00
				実績	0.00	22.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	パスワード管理や操作ログの取得等により、セキュリティに対して職員に自覚と責任を持たせることができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	システムの効率化を目的に、システムサーバーの仮想化を実施し、保守費用等を削除することができました。
成果	障害等システム不具合を防止するための対策を委託業者と検討し、ハードの定期保守の実施、障害時の対応手順の確立、障害情報の迅速な収集、対処に努めました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
今後のシステム統合化に伴い、導入される新システムについて、不具合や不測の事態が起きた時の対応方法について検討していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	システムの不具合が極力起きない対策はもちろん、不測の事態が起きた時の迅速な対応、復旧手順を確立させ、最小限の影響となるようにします。

事務事業調書

平成26年度

事業No	266	課	介護保険課	係	介護給付係	起案者	杉浦誠
						決裁者	鈴木公伸
事務事業名	介護保険賦課徴収事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 2 介護保険 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		介護保険事業特別会計						
				予算科目(款・項・目)		5-10-5						
				総合計画以外の計画		あんジョイプラン						
				関連する総合計画の施策								
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの							
根拠法令	有	介護保険法、介護保険法施行規則、安城市介護保険条例										
法定受託事務	無											
公約・議会答弁	無											
陳情・市民要望	無											
実施方法	直営		委託先									
実施期間	開始	平成12年度		経過	14年目		終了			期間		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		65歳以上の第1号被保険者が				~になる		滞納することなく公平に保険料を納付します			
事務事業の内容	第1号被保険者(65歳以上)に介護保険料の賦課を行い、保険料の納入を依頼します。 未納者に対して督促、催告を行います。 滞納者に対して個別訪問により納付の催促を行います。											
改善・対策の履歴	平成22年度から保険料徴収員を雇用して、通年にわたって臨戸訪問し督促を行っています。 平成25年度には資産調査を実施しました。											

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	16,406	18,217	15,997	15,597	16,999
財源計	7,145	7,066	7,429	7,029	8,116
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	7,145	7,429	7,029	8,116
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	9,261 (1.47)	11,151 (1.77)	8,568 (1.36)	8,568 (1.36)	8,883 (1.41)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	納入通知書発送事務	見込	60,000.00	62,000.00	63,000.00	65,000.00
			実績	60,925.00	62,334.00	64,518.00	
	指標名 (単位)	発送件数(件)	活動の総事業費(千円)	7,784	8,411	6,928	
			活動にかかるコスト(千円)	0.13	0.13	0.11	
活動2	活動名 (活動内容)	催告事務	見込	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	3.00	3.00	
	指標名 (単位)	催告書発送回数(回)	活動の総事業費(千円)	2,899	4,497	3,820	
			活動にかかるコスト(千円)	966.33	1,499.00	1,273.33	
活動3	活動名 (活動内容)	一斉滞納整理	見込	30.00	40.00	40.00	40.00
			実績	36.00	47.00	42.00	
	指標名 (単位)	実施日数(日)	活動の総事業費(千円)	4,410	3,780	3,843	
			活動にかかるコスト(千円)	122.50	81.29	91.50	

4 成果指標と実績の推移								
		指標名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	介護保険料収納率(%)			目標	99.20	99.20	99.40	99.40
				実績	99.20	99.30	99.40	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	本算定時の口座振替率(%)			目標	50.00	50.00	40.00	35.00
				実績	32.30	36.30	32.20	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果	
成果	一斉滞納整理により、介護保険料未納者に介護保険制度の趣旨を説明し、納付義務があることを認識してもらうことができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成22年度に収納員を雇用し、現年度普通徴収の収納率が2%以上上昇しました。
成果	口座振替用紙を65歳到達時に被保険者証と同時に送付し、口座振替を推奨しているが、特別徴収の捕捉回数が増えて、早い時期から特別徴収に切替わるため口座振替率が低下してしまった。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
65歳到達者の納付方法について、周知を図っていきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	介護保険事業の財源を確保するために引き続き収納率の向上を図ります。

事務事業調書

平成26年度

事業No	267	課	介護保険課	係	介護審査係	起案者	新川妙子
						決裁者	鈴木公伸
事務事業名	要介護認定事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 2 介護保険 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策				予算科目(会計)		介護保険事業特別会計		
					予算科目(款・項・目)		5-15-5		
					総合計画以外の計画		あんじょいプラン		
					関連する総合計画の施策				
					性質区分		市の内部事務事業		
根拠法令	有	介護保険法 第14条から第17条、第27条から第39条							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	一部委託		委託先		その他(医療機関・他市認定調査員)				
実施期間	開始	平成11年度		経過	15年目		終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		要介護認定申請者が			~になる		迅速かつ公平公正な認定を受ける。	
事務事業の内容	要介護認定申請者に対して、生活の場で認定調査を行い、主治医意見書と認定調査結果をもとに、介護認定審査会において審査判定を行い、「要支援1・2」「要介護1～5」「非該当」に分けて認定をします。								
改善・対策の履歴	・主治医意見書の早期回収が行えるよう、申請受付時に被保険者の受診確認を行いました。 ・主治医意見書の督促を強化しました。(依頼2週目、4週目、5週目、6週目、8週目以降の文書や電話による督促) ・事務時間短縮のため、調査委託の年間契約を行った。(年度当初及び初回委託時) ・合議体長連絡調整会議を3回実施し、問題点の検討。結果は紙面で全員に周知した。 ・調査員による調査票の点検と審査会事務局業務(議事録記載業務)を一部の調査員に行ってもらった。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	86,352	94,156	119,832	107,513	126,513
財源計	71,232	79,036	90,863	78,533	92,493
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	71,232	90,863	78,533	92,493
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	15,120 (2.40)	15,120 (2.40)	27,720 (4.40)	27,720 (4.40)	34,020 (5.40)
人事課予算分 人件費	0	0	1,249	1,260	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	介護認定審査会の開催	見込	194.00	190.00	243.00	240.00
			実績	185.00	189.00	225.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	24,872	25,069	35,529	
			活動にかかるコスト(千円)	134.44	132.64	157.91	
活動2	活動名 (活動内容)	訪問調査の実施	見込	5,600.00	5,600.00	6,250.00	6,260.00
			実績	5,444.00	5,692.00	5,545.00	
	指標名 (単位)	調査件数(件)	活動の総事業費(千円)	61,480	69,087	70,724	
			活動にかかるコスト(千円)	11.29	12.14	12.75	
活動3	活動名 (活動内容)		見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	()	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	申請から30日以内の認定率(%)			目標	100.00	100.00	65.00	65.00
				実績	63.00	42.00	73.00	
	目標達成年度	平成24年度	目標成果指標値	100.00	達成状況	未達成	未達成	達成
成果2	審査請求の提出数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・主治医意見書督促強化により、依頼から提出までの期間が24年度と比較し、短縮した。(4から11月申請24年度14、25日が25年度13、56日に短縮した。) ・審査会が増したことにより、1回あたりの審査件数が24年度29・8人/回から24・1人/回になり、委員の審査資料読み込みの時間が確保できた。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・審査会の増により、コスト増が生じたが、申請から30日以内判定者の割合が増加した。 ・緊急、至急判定の必要な追加事例の判定を、行いやすくなった。
成果	・合議体長による連絡調整会議を実施したことにより、委員間の審査判定に関する見解の統一が図れ、各合議体間の平準化に寄与しました。 ・審査会委員の研修会を実施したことにより、調査、一次判定への理解が深まり、二次判定の介護の手間の読み取りの重要性が再確認できた。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	・医療機関関係者、医師会事務局と今後も連携して、主治医意見書の早期回収を図ります。 ・遠距離施設(市外、県外)入所者の認定調査委託を、調査対象等の状況も加味し、適切に行います。 ・合議体長の交代により、判定結果にバラツキが生じないよう、連絡調整会議を実施し、合議体間の平準化を今後も図っていきます。 ・調査票点検、ミーティングの機会を活用し、調査員の資質を高め、公平公正な審査会資料の提供を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・事務処理の効率化等により申請から30日以内の認定率の向上に努めます。 ・調査員の調査票点検、ミーティングの機会を活用し、より公平公正な審査会調査資料の提供に努めます。 ・審査会委員研修会、合議体長連絡調整会議を行い、各合議体の平準化に今後も努めます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	268	課	介護保険課	係	介護保険係	起案者	永井智香子
						決裁者	鈴木公伸
事務事業名	介護保険情報提供事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 2 介護保険 1 介護保険制度の適正な運営 1 適切な情報提供				予算科目(会計)		介護保険事業特別会計			
					予算科目(款・項・目)		5-20-5			
					総合計画以外の計画		あんジョイプラン			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	介護保険法								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成12年度		経過	14年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		介護保険制度を知りたい市民が				~になる		介護保険制度を理解しやすくなります	
事務事業の内容	利用者がサービスを主体的に選択できるよう、介護保険パンフレット、介護サービス事業者マップなどにより介護保険制度や介護サービスの適切な情報提供を行います。									
改善・対策の履歴	地元の介護サービス事業者からの情報提供と情報誌会社の協力により、介護サービスや提供事業者を紹介する無料情報誌を発行しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,499	1,584	599	646	4,768
財源計	2,995	954	221	142	4,327
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	2,995	221	142	4,327
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	504 (0.08)	630 (0.10)	378 (0.06)	504 (0.08)	441 (0.07)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	無料情報誌作成	見込	0.00	1.00	0.00	1.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	作成回数(回)	活動の総事業費 (千円)	0	0	126	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	126.00	
活動2	活動名 (活動内容)	介護サービス事業者マップ作成	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	作成回数(回)	活動の総事業費 (千円)	343	779	520	
			活動にかかるコスト (千円)	343.00	779.00	520.00	
活動3	活動名 (活動内容)	制度改正パンフレット(全戸配付)作成等	見込	1.00	0.00	0.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	作成回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,352	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	2,352.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	介護サービス事業者マップ作成部数(部)			目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
				実績	3,000.00	3,000.00	3,000.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	無料情報誌作成部数(部)			目標	0.00	0.00	0.00	4,000.00
				実績	0.00	0.00	4,300.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	ガイドブック(窓口配布用)の作成を中止し、制度改正パンフレットを窓口で配布しました。被保険者が特に知りたい情報を職員が作成し、内部印刷した物を窓口配布しています。(低所得の人の軽減制度など) また、地区民生委員等への説明会、まちかど講座で介護保険制度のPRを行っています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	窓口配布用パンフレットを制度改正パンフレットの修正で前年度と同様に対応するとともに、無料情報誌の発行開始により、引き続きコストを抑えることができたが、平成26年度は、制度改正を翌年度に控え、制度改正パンフレットの作成部数を増やす必要があるため、作成コストが増加します。
成果	ガイドブック作成中止及び無料情報誌発行により、市民が特に知りたい情報を精査しながら、必要な情報を提供することができました。また、居住費・食費の軽減制度などについて、職員がわかりやすい資料を作成し、窓口配布をすることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き公金支出を伴わない無料情報誌発行にあたって監修協力するなど、市民にわかりやすい情報提供を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	介護保険改正PRパンフレットを3年に1度全戸配布し、スムーズな制度改正のためのPRを行います。また、事業者マップについては、事業者の新規・廃止等の異動があるため毎年作成します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	269	課	介護保険課	係	介護保険係	起案者	高橋知代
						決裁者	鈴木公伸
事務事業名	介護保険苦情処理事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 2 介護保険 3 介護サービスの質的向上 3 利用者の相談・苦情処理体制の強化				予算科目(会計)		介護保険事業特別会計			
					予算科目(款・項・目)		5-25-5			
					総合計画以外の計画		あんジョイプラン			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	介護保険法								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成12年度		経過	14年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		被保険者及び家族が				~になる		介護サービスを利用しやすくなる	
事務事業の内容	被保険者及び家族から寄せられた介護保険制度に対する苦情や相談について、内容と改善策を検討・実施します。さらに、重大なものについては介護保険運営協議会苦情処理部会において改善策を協議する事により、適切な介護サービスが提供されるようにします。									
改善・対策の履歴	在宅介護支援センター職員や地域包括支援センター職員及び介護相談員からの情報を元に、実地指導や県との合同指導を活用して、未然の苦情防止に努めました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	189	315	345	315	660
財源計	0	0	30	0	30
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	30	0	30
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	189 (0.03)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	介護保険に係る相談・苦情の状況報告	見込	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	8.00	11.00	12.00	
	指標名 (単位)	報告件数(件)	活動の総事業費(千円)	189	315	315	
			活動にかかるコスト(千円)	23.63	28.64	26.25	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)		目標	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
		0.00					
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	介護保険関係者の情報収集や介護保険に係る相談・苦情を受ける事により、重大な問題になる前に解決する事ができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	介護保険運営協議会苦情処理部会を開催しなかったため、コストの全ては、それを処理する職員の人件費です。苦情件数が増加していますが、それに係る職員の人員は横ばいのため、結果として、苦情1件に係るコストは低下しました。
成果	介護保険運営協議会苦情処理部会を開催するような苦情・相談はありませんでした。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
些細な苦情・相談であっても積極的に話を聞き、できる限り早い対応を行います。また、地域の総合相談窓口である在宅介護支援センターや地域包括支援センターの職員からの情報を積極的に収集するとともに、介護相談員からの情報を有効に活用し、苦情の未然防止に努めます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	被保険者及び家族、事業者、市介護保険課との協議で解決できないものを、介護保険運営協議会苦情処理部会で協議します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	275	課	介護保険課	係	介護保険係	起案者	志水浩秋
						決裁者	鈴木公伸
事務事業名	あんジョイプラン推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 1 高齢者福祉 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策				予算科目(会計)		介護保険事業特別会計			
					予算科目(款・項・目)		5-25-5			
					総合計画以外の計画		あんジョイプラン			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	介護保険法（第 1 1 7 条）								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直 営		委 託 先							
実施期間	開 始	平成12年度		経 過	14年目		終 了		期 間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民が			~になる		健康で、生きがいを持って住み慣れた地域で安心して暮らせます		
事務事業の内容	高齢者福祉計画、介護保険事業計画の進捗管理や運営を行い、介護保険事業等の円滑な推進を図ります。									
改善・対策の履歴	計画と実績に乖離が見られる事業として、介護予防事業(特に二次予防事業)があり、健康とやすらぎ推進本部第5分科会(介護予防)において、二次予防事業対象者の把握方法として生活機能評価を廃止するなど見直しを図りました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,834	1,152	1,665	865	1,098
財源計	259	396	594	298	594
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	259	594	298	594
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	756 (0.12)	1,071 (0.17)	567 (0.09)	504 (0.08)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	介護保険運営協議会の開催	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	945	506	252	
			活動にかかるコスト(千円)	472.50	253.00	126.00	
活動2	活動名 (活動内容)	あんジョイプラン進捗管理	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	630	315	252	
			活動にかかるコスト(千円)	630.00	315.00	252.00	
活動3	活動名 (活動内容)	介護保険給付分析	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	0	126	63	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	63.00	31.50	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	80.00	70.00	75.00	80.00
	事業別計画達成率(%)			実績	74.20	86.50	83.60	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	80.00	達成状況	未達成	達成	達成
				達成状況				
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果
計画の進捗管理と給付分析結果を介護保険運営協議会に諮り、適正な運営ができました。ただし、個別事業90事業において、数値目標がある96項目のうち、51項目は目標数値に届いていない状況です。

6 各活動にかかるコストと成果の分析
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト 今年度は、あんジョイプラン7の策定を開始し、あんジョイプラン策定委員会と介護保険運営協議会を併せて開催したため、人件費が下がり、コストが下がりました。
成果 目標数値を達成した項目が、昨年度の42から今年度は45項目と増えています。しかし、前年度より数値の下がった項目が36項目あり、うち5項目は目標数値を達成していたものが未達成になったため、事業別計画達成率が微増に終わっています。

7 所属長の改善案
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
計画と実績に乖離が見られる事業については、課題・問題点を把握するとともに、関係部署と調整しながら計画の推進を図ります。

8 方向性
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続
今後も、あんジョイプランの進捗管理と分析を行うことにより、適正な高齢者福祉、介護保険行政を推進します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	270	課	介護保険課	係	介護保険係	起案者	松井敦
						決裁者	鈴木公伸
事務事業名	あんジョイプラン策定事業				事業種別	企画・計画策定	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 1 高齢者福祉 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		介護保険事業特別会計		
				予算科目(款・項・目)		5-25-5		
				総合計画以外の計画		あんジョイプラン		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの			
根拠法令	有	老人福祉法（第20条の8第1項）・介護保険法（第117条）						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成24年度	経過	2年目	終了	平成26年度	期間	3年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	あんジョイプラン7（高齢者福祉計画、介護保険事業計画）が			～になる	より市民のニーズに沿ったものとして策定されます。		
事務事業の内容	3年間を1期とする安城市の高齢者福祉計画、介護保険事業計画を策定します。							
改善・対策の履歴	平成25年度は、次期計画策定を開始するため、高齢者向けのアンケート調査の実施や介護保険制度改正に係る情報収集に努めました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	11,084	0	6,855	6,374	10,860
財源計	5,729	0	4,335	4,295	6,450
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	5,729	4,335	4,295	6,450
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	5,355 (0.85)	0 (0.00)	2,520 (0.40)	2,079 (0.33)	4,410 (0.70)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	あんジョイプラン策定	見込	1.00	0.00	0.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	4,410	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	4,410.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	あんジョイプラン策定委員会の開催	見込	4.00	0.00	2.00	5.00
			実績	5.00	0.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	945	0	1,250	
			活動にかかるコスト (千円)	189.00	0.00	625.00	
活動3	活動名 (活動内容)	高齢者等実態調査の実施	見込	0.00	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	0	0	5,124	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	5,124.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	100.00	0.00	20.00	100.00
	あんジョイプラン策定進捗率(%)			実績	100.00	0.00	20.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成		達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	高齢者等実態調査の調査項目を検討作成し、アンケート調査を実施しました。その結果を安城市高齢者等実態調査報告書にまとめることができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
	次期計画策定初年度のため、高齢者等実態調査の実施のコストが全コストの約8割を占めています。
成果	高齢者等実態調査を予定通り行うことができたため、次期あんジョイプラン策定の基礎作りができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
あんジョイプラン6の適正な進捗管理を図るとともに、次期計画策定のため、介護保険制度改正などの情報収集に努めていきます。また、現行計画の課題となっている部分を、次期計画に生かすための、関係機関との調整を綿密に図っていく必要があります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	あんジョイプランは、「老人福祉計画」「介護保険事業計画」を合わせた重要な計画です。策定委員会を医療・福祉・保健の関係者及び市民公募委員で構成し、あんジョイプラン6の進捗状況を把握しつつ、次期計画策定に向け幅広い分野からの意見を集約していきます。